

2018

12

December
No. 309

広報みしま

Mishima Town Public Relations



味と技を伝える おばあちゃんの味

11月22日、町民センターで郷土料理を子どもたちに伝える「おばあちゃんの味」が行われました。地域の伝統的な料理の知恵や栄養を学ぶ食育の場として、三島小4、5年生が「五目ふかし」「肉じゃが」「なめこ汁」などを、老人クラブ連合会女性部の皆さんと一緒に作りました。大ホールで行われた会食では三島小学生全員が招待され、完成した料理をおいしく味わいました。

福島県荒屋敷遺跡出土品 国重要文化財指定 三島のサイノカミ 国重要無形民俗文化財指定10周年 合同祝賀会 奥会津編み組細工 国伝統的工芸品指定15周年

福島県荒屋敷遺跡出土品国重要文化財指定、三島のサイノカミ国重要無形民俗文化財指定10周年、奥会津編み組細工国伝統的工芸品指定15周年の合同祝賀会は11月30日に交流センター山びこで開催され、当町名誉町民である宮崎清先生をはじめ、それぞれ指定に尽力された方など80名が出席しました。矢澤町長が「3つの指定は町民の誇りです。先人たちに敬意と感謝を述べるとともに、指定に携わった多くの方々に感謝いたします。」と式辞を述べました。

祝賀会では、荒屋敷遺跡について、三島町文化財保護審議委員を務める小松順太郎さん（西方）、奥会津編み組細工については奥会津三島編組品振興協議会会長の五十嵐三美さん（大谷）、三島のサイノカミについては川合正裕町学芸員（宮下）がそれぞれの特徴や成り立ち、指定に至る経緯などを説明しました。祝宴では、カタクリの会とランチBOX、会津地鶏みしまによる三島の食材をふんだ

んに使った料理を味わっていただきました。また、荒屋敷遺跡発掘当時の映像が流れたほか、三島町太神楽保存会による長獅子の披露がありました。町では、町民の皆さんが守り、受け継いできたサイノカミや編み組細工を保存、発展させるための運動にさらに力をいれて取り組んでいきます。また、荒屋敷遺跡の保存と利活用を検討し、展示する機会を増やすことなどを検討しています。



3 指定の概要と特徴

平成 30 年 10 月 31 日指定



福島県荒屋敷遺跡出土品

縄文時代晩期～弥生時代中期にかけての土器、石器のほか、赤漆塗土器、巻紐、糸玉といった漆工芸、木製品、編み組製品など有機質の遺物が多数発掘されました。これらは他の遺跡ではなかなか見られない非常に貴重な考古資料として、約19万点の遺物のうち589点が指定されました。

平成 20 年
3 月 13 日指定



三島のサイノカミ

一時存続が危ぶまれていたサイノカミは、「雪と火のまつり」開催を皮切りに再度活発化し、昭和60年に町が定めた「地区プライド」年中行事として選定、平成10年代には町内外の研究者による本格的な調査により、各地区のサイノカミの特徴が明らかになりました。この調査の結果、国の小正月行事を知る上で重要なものとして指定されました。

平成 15 年 9 月 10 日指定



奥会津編み組細工

昭和56年に町振興計画の柱として提唱された「生活工芸運動」が基となり、普段の生活で使われていた編み組細工が発展していったものです。三島町生活工芸運動友の会や奥会津三島編組品振興協議会が設立され活動が活発化し、ヒロ口籠、マタタビ箆、山ブドウ籠が指定されました。



目指せ！健康寿命＋10歳（プラステン）

第1回健康フォーラム

町では、町民の皆さんの健康づくりを推進するため「目指せ！健康寿命＋10歳（プラステン）」を合言葉に「食と栄養」「運動」そして「社会参加」を通じた健康づくり事業「三島町元気で長生き推進事業」を今年度から開始しました。町独自の取り組みの他、県の補助事業などを活用し、健康づくりにつながる事業を展開していきます。

事業の最初の取り組みとなる第1回「健康フォーラム」は11月10日に町民センターで開催され、町民約80名が参加しました。

はじめに、県立宮下病院の浅野院長、柳田主任医療技師による「いつでも元気で暮らすために、知っておいて欲しいこと」と題した基調講演が行われました。講演の後には町民課による本事業の概要についての説明があり（事業の概要は4～5ページに掲載しています）その後、町保健師による講習会が行われ、なぜ塩分の摂りすぎが危険なのか、日々の食生活で塩分摂取を抑えるコツなどが紹介されました。また、昼食では塩分0のうどんなどを活用した減塩メニューを試食しました。

参加者の皆さんは講習会や休憩時間で減塩食品と通常の食品を実際に食べ比べ、味の違いや調理方法などについて熱心に話し合っていました。



県立宮下病院の柳田主任医療技師による講演の様子

※ 4～5 ページに「三島町元気で長生き推進事業」の概要を掲載しています。

トレーニングルームができました



平成30年12月15日⑤にスポーツクラブのインストラクターによるトレーニング教室を開催します！詳しくはお知らせ版をご覧ください

●利用案内●

- 場 所 三島町多目的活動施設「桐の里倶楽部」内
- 利用対象者 町内に在住もしくは勤務している18歳以上の方
または保護者同伴の町内に在住する中学生・高校生
- 利用時間 午後2時～午後8時（定休日：毎週水曜日）
※会場をイベント等で利用する場合は休業とさせていただきます。
- 利用料金 無料
- その他 1回20分以上の利用で、みしま健康ポイントを1日1ポイント付与します。（町内に住所を有する高校生を除く18歳以上の方のみ）
- 問合せ先 町民課 保健福祉係 ☎48-5565



11月10日より桐の里倶楽部にトレーニングルームを開設しました。無料で利用できますので、健康づくりに積極的にご活用ください。

食（栄養）

■健康フォーラムの開催■

実施時期：11月10日・12月15日・3月中旬（計3回）

実施内容：基調講演・事業説明

減塩食品の紹介・試食会

講習会（減塩・尿中塩分測定等）

健康器具等の体験

健康啓発講話

個別相談・保健指導



■健康寿命プラステン講習会（生活習慣病予防）■

実施時期：12月～3月

※31年度以降も継続実施。

テーマは「減塩・減糖」。

実施内容：料理講習会

個別相談

個別指導

健診結果の見方



■健康ミニフォーラムの開催（各地区）■

実施時期：6地区（30年度予定）

※31年度以降も継続実施、

各地区を巡回。

実施内容：説明会

料理講習会

個別相談

個別指導 等



運動

■トレーニングルームの開設■

場所：桐の里倶楽部

利用時間：午後2時～午後8時 ※毎週水曜日定休

導入機材：ランニングマシン

&エアロバイク



※20分以上の利用で健康ポイント付与。

■ウォーキングコースの設定■

町の推奨するウォーキングコースを設定し、ウォーキングマップを作成・普及することで、町民のウォーキングを通じた健康づくりを推進する。（2・4・6kmコース）



■先駆的健康づくり支援事業■

（委託先：㈱タニタヘルスリンク）

モニターによる活動量等の

実態調査（活動量計の貸与）

→データ集計・分析

総消費カロリー量

歩数・歩行時間

活動エネルギー量

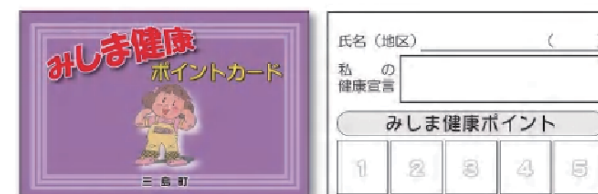


健康

社会参加

■町民みんなで「私の健康宣言」■

新しい健康ポイントカードの導入による自分なりの健康に関する「目標」をカードに記載し、日々健康に対する意識を持ちながら、健康づくり団体や町主催の健康づくり活動に積極的に参加する。



例：毎日20分以上ウォーキングする。

朝ごはんを必ず食べる。

週に1度は休肝日。 などなど・・・

桐の植栽を体験、産地の現状を知る 会津桐植栽体験ツアー

会津桐植栽体験ツアーは11月10日～11日に開催され、県内外から13名が参加し、会津桐の植栽や、会津桐タンス(株)の見学などを通じて桐についての理解や関心を深めました。

今回のツアーは、町の特産である会津桐の魅力を学ぶ機会として初めて開催されました。初日は、大石田地区の植栽地において、苗木の植えつけと冬囲いを体験しました。



桐の定植作業を体験した参加者の皆さん



桐の特性などを学びました

また、夜は会場をふるさと荘に移し、桐の特性や町の歴史や桐生産の現状、課題について学びました。

翌日は、会津桐タンス(株)を見学した後、生活工芸館で桐材を使った工作体験を行いました。参加者の皆さんは、今回のツアーで会津桐を学び、植え、育て、加工する過程を体験することで、会津桐の特徴や三島町の桐の現状を知る良い機会となりました。



2



みんなで文化とふれあおう！三島町文化祭

三島町文化祭は文化の日の11月3日、町民センターで開催され、会場には、書、絵画、写真、生け花など町民の皆さんの作品が多数展示されました。また、役場前では農産物の販売、会津地鶏唐揚げ、いわき市四倉からの海産物などが販売されました。2階では、骨密度測定や、体脂肪や筋肉量を測る健康づくりのコーナーが設けられ、自分の身体を知る機会となったほか、工人の方々によるヒロ細工、マタビ細工の実演などが行われ

- ました。
- また、午後から行われた芸能発表会では、三島中生徒の合唱、文化協会加盟団体などによる発表や南相馬市出身の歌手、福島一さんの歌謡ショーなどが披露されました。
1. 三島中生徒による合唱
 2. 三島おいしいもの市の様子
 3. 素晴らしい歌声を披露した福島一さん
 4. 生活工芸館ブースの様子
 5. 町民センター内でも様々な分野の力作が展示されました
 6. 芸能発表会には大勢の観客がつめかけました



3



4



生涯学習表彰式



体育部門で表彰された坂内玲央さん

生涯学習表彰式は11月3日に三島小学校で行われ、スポーツ、芸術などで優秀な成績を収めた15名が矢澤町長より表彰されました。

三島町社会を明るくする運動標語コンクール表彰式

氏名	標語(すべて特選)
熊谷祐也(小5)	あいさつは みんなが喜ぶ 贈り物
吹上媛香(小5)	あいさつは 仲間をふやす あいことば
佐藤花音(中3)	大丈夫 手を取り合えば ほら笑顔
菅家大貴(中1)	ありがとう そのひと言で つながる輪

交通安全運動標語コンクール表彰式

氏名	標語(すべて特選)
熊谷祐依(小1)	しんごうき あおでもかならず みぎひだり
二瓶仁美(中2)	事故ゼロは みんなができる 町貢献

生涯学習表彰式【体育部門】

氏名	成績
坂内玲央 (喜多方桐桜高3)	福島県高校新人大会 レスリング競技 50kg級 優勝
	福島県高等学校体育大会 レスリング 51kg級 優勝
	全国高等学校総合体育大会福島県大会 レスリング 51kg級 優勝
	レスリング 51kg級 優勝

生涯学習表彰式【文化部門】

氏名	成績
二瓶伸悟(小2)	第51回福島県児童作文コンクール 佳作
鈴木康生(小3)	第63回青少年読書感想文福島県コンクール 特選
齋藤翔子(小3)	第51回福島県児童作文コンクール 特選
鈴木美乃里(小5)	第38回FCT児童画展 特選
齋藤美那(小6)	第71回福島県下小・中学校音楽祭(第3部創作) 金賞
五十嵐望(中1)	第51回福島県児童作文コンクール 佳作
星明音里(中1)	第38回FCT児童画展 特選
佐藤花音(中3)	第20回MOA美術館全会津児童作品展 福島県南 会津地方振興局長賞 第40回少年の主張福島県大会 優良賞 第63回青少年読書感想文福島県コンクール 佳作

滝原 GGC（グラウンドゴルフクラブ）納会

文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

若葉の季節から始まったグラウンドゴルフクラブの活動は、週2回の練習の成果もあり様々な大会で成果を残し、10月の最終月曜日となる29日に納会となりました。

滝原以外の地区から参加いただいた皆様と共に、14名で今年度最後のグラウンドゴルフを楽しみ、終了後は林業活性化センターに場所を移し、互いの健闘を讃えるなど賑やかに会食を行いました。



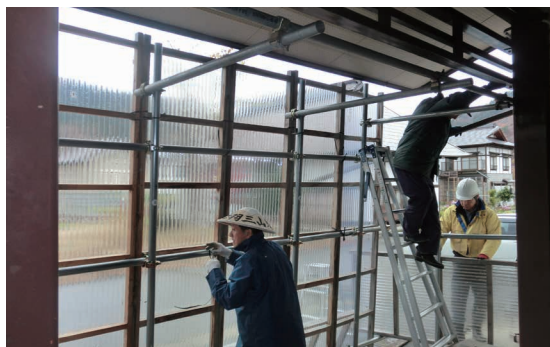
住民の憩いの場「ふるさとセンター」の冬囲い

文・写真 本名与四郎さん（西方）

11月17日の午前9時よりふるさとセンターの冬囲いとガードレールの撤去作業が行われました。冬囲いが始まる頃より冷たい雨が降る中での作業となりました。西方区長の北館長一さんを中心に、地区委員の皆さんが参加して午前中に冬囲い作業とガードレールの撤去作業を終了することができました。

単管パイプとクランプと呼ばれる接合部品を使つての組立作業を行いました。毎年、組み立て作業を行っており、スムーズに段取りよく作業に取り組むことができました。また、和やかな雰囲気の中で、ケガ、事故なく無事終了しました。

二十四節気の一つである「小雪」を控え、雪に閉ざされる奥会津の冬に備えた晩秋の恒例の作業となりました。



虫供養が行われました

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）



11月10日、早戸地区の行事である「虫供養」が行われました。今年は10日が土曜日となり、小学校と調整がつかなかったため、残念ながら小学生のみなさんの参加がなく、少し寂しいものとなりました。しかし、早戸地区以外の地区の方も来てくださり、無事に虫供養をすることができました。

例年通り、早戸本村の下橋のところで佐久間弥一さんの鉦つきでスタート。虫供養塔の前で参加者全員がお参りをした後、供えた団子をみんなで食べ、参加者にお菓子を配って散会となりました。参加した住民からは、来年は小学生が参加できるように調整できないのか、という声が複数ありました。これを課題として、地区として検討していきたいと思います。

より充実した教育へ

保育所、小・中学校視察訪問



10月30日に教育長および教育委員の方々による「保育所、小・中学校視察訪問」が行われました。それぞれの施設では、経営方針や特に充実をめざして取り組んでいる内容について、保育所長や校長先生より説明をうけました。その後、子どもたちの楽しそうに遊ぶ姿や熱心に取り組む小中学生の授業を参観しました。最後の小学校で、4月より開始された学校給食をみなさんと一緒にいただきながら和やかな時間を過ごしました。

7 町村連合チーム「希望ふくしま」総合35位

第30回ふくしま駅伝



第30回ふくしま駅伝大会は11月18日、白河市から福島市まで中通りを縦断する16区間、95.0kmのコースで開催されました。三島、金山、昭和、湯川、檜枝岐、川内、葛尾の7町村からなる連合チーム「希望ふくしま」は目標としていた順位には届かなかったものの、チーム一丸となって力走し、総合35位となりました。

当町からは北館亮さん（西方）が監督を兼務しながら12区を、三島中3年の小松凌大さん（西方）が8区を走り、三島中2年の鈴木哲生さん（宮下）、三島中1年の五十嵐望さん（大谷）が控え選手としてチームメイトをサポートしました。

投 げて打って走って

ふれあい野球教室

町野球チーム「ヒートブロー」による野球教室は11月18日に町民運動場で行われ、子ども達を中心に小学生8名、保護者1名が参加しました。参加者の皆さんはメンバーからコツを教わりながらキャッチボール、ノックやバッティング練習を行い、初心者から何度も野球教室に通っている経験者まで、野球に触れあう機会を楽しみました。また、来年も野球教室を開催する予定です。



最 新の救命装置を搭載

会津坂下消防署三島出張所が救急車を更新



会津坂下消防署三島出張所の救急車が新しくなりました。これまでより一回り大きく、室内空間が広がったことにより、処置スペースが十分に確保され、より柔軟な対応が可能となりました。また、最新の自動式心臓マッサージ器を導入し、困難とされた担架搬送時の心臓マッサージを可能にするなど、これまで以上の救急対応が期待されます。

長寿会の親睦旅行

文・写真 角田伊一さん（川井）

川井老人クラブ長寿会の今年度親睦旅行は、昨年同様西会津方面となりました。昨年度の取り組みが好評でしたので、至近距離でゆっくり堪能できる場所に行きたいという会員の意見が多かったので、昨年度好評を得た観光の町西会津に出かけることになりました。11月1日、15人の会員は迎えに来た西会津ロータスインのバスに乗り込み出発。四岐地区の如法寺観音堂を参詣し、大久保では大山祇神社を参拝しました。

早めにロータスインに入り、ゆっくり入浴を楽しんだ後、楽しい会食で懇親を深め合いました。帰路は道の駅よりっせで土産物などを買い求め、夕刻早めの帰宅となりました。



地区人足（神社境内冬囲いと清掃作業）

文・写真 佐々木邦雄さん（松原）

11月4日、まだ薄暗い朝の6時より、恒例の春日神社境内の鳥居と灯籠の冬囲い、落ち葉の清掃および観音様周辺や町道の清掃が行われました。清掃には約30名が参加し、足下や手元に十分注意しながら、手際よく効率的に作業が進められました。

当地区の冬囲いは、竹林を支柱としてわら縄で固定し、転倒防止を図っています。これから春までの約半年間、この囲いの役割が重要になります。

1時間ほどの作業で冬を迎える準備が完了し、来年の暖かな春を心待ちにしながら元気に解散しました。参加された皆様、大変お疲れ様でした。



おいしい蕎麦ができました

文・写真 小島純さん（宮下）

みやした蕎麦と豆腐の会（代表：佐久間宗一）では、そばの脱穀作業を11月5日に行いました。作業は「蕎麦と花でいっぱい！の景観づくり応援団」の皆さんや「蕎麦づくりで地域の景観づくり」の趣旨に賛同する方が集まり、秋晴れの中、気持ちよく汗を流しました。作業終了後には、観光交流館からんころんに移動し、協力していただいた皆さんに「新そば」がふるまわれました。

また、会では11月29日に応援団の皆さんを招き、宮下活性化センターにて収穫祭を行いました。



平成31年度の早戸地区環境整備計画に向けての視察・調査を行う

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）

早戸地区では、東北芸術工科大学との協力で地域の環境整備事業を継続的にを行っています。11月17日には大学の講師陣の方々により、来年の活動に向けての視察・調査が行われました。

今回の視察・調査では、集落内の様子を再確認し、今年度行った施工場所のその後の様子を確認する作業と、早戸地区の理解をより深めるために「神々の道」も歩いて、データの収集を行いました。

打ち合わせにおいて、平成31年度の活動予定としては、湯の平地区の遊歩道の環境整備を引き続き行うとともに、今年度行った居平地区の環境整備も行うことを基本とすること、平成31年度の活動内容詳細については今後佐久間建設工業、東北芸術工科大学、早戸地区の三者で詰めていくことを確認しました。

早戸地区としては来年度も引き続き「三島町地区支援事業」の補助金を受けて活動を継続していきたいと考えています。



「地域づくり団体全国研修交流会」福島大会の分科会を早戸地区でも受け入れ

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）



全国の地域づくり団体や行政関係者が全国から集まり、研修・情報交換を行う「第36回地域づくり団体全国研修交流会」が福島大会として開催されました。その分科会の一つが「一般社団法人IORI倶楽部」が世話役となり、11月17日、18日三島町で開催され、早戸地区としても受け入れでの協力をしました。研修者は竹のや旅館とつるの湯湯治棟に分宿し、17日の夜は「つるのIORIカフェ」で交流会が開催されました。

18日は8時から竹のや旅館前から早戸地区の「神々の道」の一部を散策し、早戸本村内を見学。参加者からの質問等に住民の方々が対応しました。沖縄県から青森県まで各地からの参加者がいましたので、奥会津の風景を見るのは初めてという方も多く、特に沖縄県から参加された方は沖縄県とは全く違う植生や風景に強い関心を持たれていました。

早戸本村集落見学の後、佐久間建設工業森林事業部の方から木の伐倒の仕方、昔使っていた道具の説明等を受け、実際に栗の木の伐倒を見学しました。その後も森林事業部社員の指導でチェーンソーを実際に使ってみたり、斧での薪割りを体験するなど、普段できない体験となったようです。

このような研修等の受け入れが、各地での地域づくりでのヒントを提供できる場となれば幸いです。

風邪と同じく休めば治る？

発症後48時間以内に治療を開始することが最良ですので、病院できちんと検査を受けましょう。インフルエンザ専用の薬が処方されます。市販薬は副作用を強くおこしたり、逆効果になったりする場合がありますので、むやみに使用すると危険です。

予防接種、いつ受けようか

そろそろ受けましょう。18歳以下の方、65歳以上の方は、11月から町の助成も始まっていますので、どうぞご利用ください。効果は2週間から出始めて、1か月程でピークになり、そこから徐々に低下します。人によりますが、効果が期待できるのは3～5か月程度です。

かかるとどうなるの？

多くの場合、突然38度以上の高熱が出ます。そのため強い寒気、節々の痛み、筋肉痛や全身のだるさを感じることが特徴です。

検査してもすぐに結果は出ないと聞くよ

インフルエンザウイルスは体内に入ると増殖します。症状が現れてすぐはウイルスの数が少ないので判定できない場合があります。そのため検査は発症後12時間以上たってから受けるのが良いとされています。しかし、体調の変化を感じたらすぐに医療機関を受診しましょう。

予防は手洗い、うがいだ！

その通りです！外から帰ってきた時は、特に徹底してください！



町史編さん室だより

第35回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。
☎(52) 2165

「大石組地震」と避難者を受け入れた村々――

文政四（一八二二）年十一月十九日五時半（午前九時頃）、大石組（現在の金山町東部）を中心にして大地震が発生しました。太郎布、大栗山、八町、水沼は特に強く揺れたようで、太郎布では二人の女性が家の倒壊に巻き込まれ亡くなっており、各村でも家や土蔵だけでなく、橋や堰など各所に大きな被害が出ました。

以後も余震が続き、人々を不安に陥れます。そういった不安を払拭するために幾度か御祈禱が行われました。十二月二十日から二十二日にかけて沼沢の沼御前の社、大石の八幡宮、玉梨の鹿島大明神において行われた御祈禱には、被災した大石組の者達だけでなく、名人の神主や、大谷組の郷頭、大谷・浅岐・間方の三役の者達も参加、祈禱の期間中には野尻・滝谷・大谷組の者達も自由に参拝し、祈りを捧げたようです。

余震は翌年になっても続き、特に文政五年正月四日八時半（午後三時頃）、六日夕五時半（午後九時頃）の地震は最初の地震と同じほど揺れたと、宮崎の名主である

中丸庄次郎が「大石組地震」の一部始終をまとめた『地震方始終留』に書かれています（抜書を『三島町史』に掲載）。

こういった状況で大石組の名主達が代官に報告、正月十三日（新暦二月四日）、鈴木覚左衛門外一名の代官が下したのは他の組への一時的な避難でした。その指示により、被害が比較的少なかった本名・早戸・滝原・大牧・高倉を除いた大石組の人々は滝谷組、大谷組、野尻組（現在の昭和村）、大塩組（現在の金山町西部）での避難生活を送ることになります。

避難先は現在の三島町内であれば大谷組では宮下・桑原・大登・川井、滝谷組では西方・名人・滝谷・松原の合わせて八ヶ村です（『金山町史』下巻より）。

前述した『地震方始終留』によれば、宮崎の者は滝谷へ十五軒（六十二人）、松原へ二十八軒（百二十七人）、縁のある者を頼って西方に一軒（人数不明）、野尻に二軒（人数不明）引っ越したと記されています。なお、大谷組全体では百十一軒（四百四十一

図書のご案内

●今月のおすすめ



「ひと」
著者：小野寺 史宜

両親を亡くし天涯孤独となった20歳の聖輔。大学を中退し、仕事を探さねばと思うも、動きだせない日々を送っていた。ある日、なけなしのお金で買ったコロッケを見知らぬお婆さんに譲ったことから彼の運命が変わっていく……。

○利用時間

月～金 午前9時～午後9時 土・日・祝 午前9時～午後5時
※年末年始は閉館いたします。

「ネコヅメのよる」（絵本）

著者：町田 尚子

真夜中に猫たちがどこからともなく集まってきて……。猫たちの表情がとても素敵です。



題 名	著 者
海賊島の殺人	沢 村 浩 輔
SHOE DOG 靴にすべてを。	フィル・ナイト
騙し絵の牙	塩 田 武 士
鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ	川 上 和 人
バッタを倒しにアフリカへ	前野ウルド浩太郎
僕はロボットごしの君に恋をする	山 田 悠 介

●新着本●

問 公民館 ☎ (48) 5599



しぶしぶくん

環境研だより 第6回「出前講座を開催します」

国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室

三島町のみなさま、こんにちは。

7月からの連載開始以来、三島町における森林資源と再生可能なエネルギーの活用についてお話ししてきました。

私たち国立環境研究所は、昨年8月に三島町と「連携・協力に関する基本協定」を締結して以降、町民のみなさまにも協力いただきながら様々なデータを集めながら研究を進めておりますが、一方的に情報をいただくのではなく、得られた成果をみなさまにも知っていただく機会をできるだけ多く設けることも大切と考えています。昨年はその第1弾として、12月17日に弊所と町の共催で「地域に根ざしたエネルギーを考える」と題した出前講座を開催させていただきました。当日はあいにくの大雪でしたが、約30名の三島町や近隣町村の方々にご参加いただき、弊所の研究や再生可能エネルギーの活用についてご紹介し、意見交換をさせていただきました。今回はその内容について簡単に振り返りたいと思います。

まず、再生可能エネルギー（以下、再エネ）についてです。再エネは石油や石炭、天然ガスといった有限な資源である化石エネルギーとは違い、太陽光や風力、地熱といった地球資源の一部など自然界に存在するエネルギーで、適切に使えば資源が枯渇せず繰り返し使え、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しないことが大きな利点です。また、地域に存在する様々な資源が再エネとして活用できる可能性があるため、災害などの不測の事態でも自分たちでエネルギーを供給できるようになるとともに、それらの資源を活用した新たな産業を創りだすことができる可能性があります。三島町の場合、水力や温泉熱、太陽光、木質バイオマスなどが再エネに関する有力な地域資源と考えられます。日本でも特に東日本大震災以降、様々な政策により導入が促進されており、特に福島県では2040年までに県内のエネルギー需要の100%以上を再エネで賄うという高い目標のもと取組みが進められています。

次に弊所が昨年実施した研究についてです。1つめとして、町内でも特にエネルギー需要が高い地区として県立宮下病院周辺を選定し、現状の電気や灯油を使ったエネルギーシステムを木質バイオマスによる熱と電気を供給するシステムに置き換えた場合の効果を試算しました。その結果、現状で年間約2,800万円かかっているエネルギー費用を安くすることは難しい

ものの、燃料となる木材に三島町産を使用することで、地域にお金が還元されるしくみが作れる可能性を検討しました。2つめとして、昨年10月から12月にかけて実施したエネルギーに関するアンケート調査結果について紹介しました。町民1世帯当たり3台の灯油機器を使用しており、灯油料金も冬場は平均11,716円と、電気料金（10,888円）を上回る金額となっていました。また、薪機器（ストーブや給湯など）の利用率は9%で、利用者の多くは薪を自家生産していることが分かりました。

今回ご紹介した出前講座の第2弾を、**12月21日㊟の午後2時から交流センター山びこ**にて開催予定です。「森林資源を活用した再生可能エネルギーへの挑戦」と題しまして、前半は弊所や町より取り組みの報告があり、後半は会津自然エネルギー機構代表理事の五十嵐乃里枝さんの進行のもと、矢澤源成町長と弊所原澤英夫理事にも参加いただき、三島町の森林活用と再生可能エネルギーの活用について参加者のみなさまと意見交換する予定です。ぜひ足をお運びいただければと思います。詳しくは案内チラシをお知らせ版などと合わせてお配りいたしますので、そちらをご覧ください。



昨年の出前講座の様子

<筆者紹介>

中村省吾（なかむら しょうご）

沖縄県出身です。ふくしま駅伝応援お疲れさまでした！今年も多くの皆さまにお世話になりながら研究調査を進めることができ、ありがとうございました。来年もよろしくお願いいたします。



●内容に関するお問合せ先
国立環境研究所福島支部 地域環境創生研究室
☎ 0247 (61) 6572

愛ばんしょ外来のお知らせ



「みしま健康ポイント」の対象です！

宮下病院では、毎週木曜日「愛ばんしょ外来」（在宅療養生活支援外来）を開設しています。

病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口

地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供

地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援

などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。



相談窓口では、皆さまの疑問や不安、要望などの相談を受け付けています。予約は不要です。待合室にお越しください。

費用は無料です。どなたでもご利用できますので、お気軽にお越しください！（相談コーナーと健康教室は予約不要です）

☎ 宮下病院 ☎ (52) 2321

○12月は輪投げ大会を開催します
お気軽に待合室にお越しください！

月 日	内 容
12月 10日㊟	・住民交流事業「おりきりおり」 講師：半澤政人 先生
12月 13日㊟	・相談コーナー ・健康教室「インフルエンザに要注意！」（講師：看護師）
12月 20日㊟	・相談コーナー ・健康教室「インフルエンザに要注意！」（講師：看護師）
12月 27日㊟	・相談コーナー ・健康教室「おもちの食べ方～おいしく安全に～」（講師：看護師）
1月 10日㊟	・相談コーナー ・健康教室「インフルエンザにかかったら」（講師：看護師）

・相談コーナー 午前9～12時、
午後1時～4時

・健康教室 午前10時30分～11時

・場 所 宮下病院 外来待合室等
（健康教室の内容は変更になる場合があります）



外来看護師のつぶやき

突然ですが皆さま、ご家族とは日ごろたくさんお話していますか？自分の気持ちをちゃんと伝えることはできているでしょうか？

病院に救急搬送された場合、多くの方は自分の意思を伝えることが困難な状況となっています。そんな中、代わりに意思決定するのは家族です。当然、本人の気持ちより、家族の気持ちを重視した決断となってしまうがちです。

「終活」や「エンディングノート」など最近よく耳にします。「最期をどうしたいか」ということも大切ですが、「どこで、どう生きていきたいか」

専門看護技師(兼)看護師長 生江智香子



も重要なのではないのでしょうか。自分が何を大切に生きてきたのか、これから何を大切にしていきたいのかなど、元気なときから家族と十分に話し合い、自分の思いを伝えておくことが、自分らしく生き続けることを可能にするのではないかと考えます。

宮下病院外来では、高齢となった方が、住み慣れた地域でできるだけ長く、自分らしく生活するためのお手伝いをさせていただきたいと考えております。毎週木曜日は相談窓口として「愛ばんしょ外来」も開設しておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。

三島保育所

入所のご案内

平成31年度の入所申し込みを受け付けます。

●対象者

三島町に住所を有する小学校入学前の乳幼児
※平成31年度の途中入所を予定されている方もお申し込みください。

●保育実施の基準

児童の保護者が次の①～⑪のいずれかに該当し、児童を保育することができないと認められる場合で、かつ同居の親族等が当該児童を保育することができないと認められる場合に行うものとします。
①居宅外で労働することを常態としていること。
②居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。
③妊娠中または出産後間がないこと。

④疾病にかかり若しくは負傷し、または精神若しくは体に障がい有していること。
⑤長期にわたり疾病の状態にあるか、または精神若しくは体に障がい有する同居の親族を常時介護していること。
⑥震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。
⑦求職活動（起業の準備を含む）を断続的に行っていること。
⑧就学していること。
⑨虐待または配偶者からのDV（家庭内暴力）のおそれがあること。
⑩育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること。
⑪町長が認める前各号に類する状態にあること。



●保育所開所時間

（月～土）
午前7時30分から
午後6時30分まで
※土曜日も、事前にお申し込みただければ、午後6時30分まで利用できます。

●保育料

保育料は保護者の町民税額を基準として決定します。

●提出書類

①保育給付支給申請書
②保育所入所申込書
③就労証明書
（用紙は教育委員会事務局で配布しています。）

●入所申込締切

1月11日（金）

【申し込み・お問合せ】

三島保育所 ☎（48）5501
教育委員会 ☎（48）5599

消防署からのお知らせ
暖房器具の取り扱いに注意しましょう

秋、そして冬へと季節が移り変わるにつれて寒さが一層厳しく、これからの季節ストーブなどの暖房器具を使用する機会が増えてきます。安全な取扱い方法をしっかりと身につけて、寒い時期を安全で快適に過ごしましょう！

●乾燥機代わりにしたために

洗濯物が乾きにくいこの季節。つい、ストーブの真上や近くで洗濯物を乾かしてしまいがち。
乾いてくると、軽くなった洗濯物がストーブに落ちて火災に…。
ストーブの近くで洗濯物を乾かさない！

●スプレー缶が爆発！

スプレー缶をストーブの近くに置きっぱなしにしたため暖められて中のガスが膨張し、爆発して火災に…。
スプレー缶をストーブのそばに置いたり、近くで使用してはいけません！

●タンクの灯油がこぼれて…

ストーブを使っている途中で灯油が切れた。そこで、点火したままタンクを抜いて給油した。セッティングとタンクをひっくり返したら、ふたがはずれ灯油がストーブにこぼれて……。
給油するときは必ずストーブを消すこと。
給油したあとタンクのふたをきちんと閉めたか確認すること！



火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電 話 52 - 3032
FAX 52 - 3033

◆部門別職員数の状況（平成30年4月1日現在）

部 門	職員数	前年度からの増減
一 般 行 政 部 門	議 会	1 ± 0
	総 務	14 ± 0
	税 務	2 ± 0
	民 生	7 + 1
	衛 生	2 ± 0
	農 林 水 産	4 ± 0
	商 工	5 ± 0
	土 木	2 - 1
特 別 行 政 部 門	小 計	37 - 1
	教 育	4 ± 0
公 営 企 業 等 会 計 部 門	水 道	1 ± 0
	国 保	1 ± 0
	そ の 他	1 ± 0
	小 計	3 ± 0
合 計	44	- 1

⑨職員数は一般職に属する人数であり、町長、副町長、教育長、派遣職員、臨時または非常勤職員は除いています。

◆人件費の状況（平成29年度普通会計決算）

歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費率（B／A）
27億480万円	2億8,938万円	3億6,159万円	13.4%

⑩人件費には非常勤の特別職に支給する給料や報酬も含まれます。

◆職員給与費の状況（平成29年度普通会計決算）

職員数（A）	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計（B）	1人当たりの給与費（B／A）
42	1億3,961万円	2,473万円	5,695万円	2億2,129万円	527万円

⑩職員数は平成29年4月1日現在。職員手当には退職手当を含まない。

◆職員の平均年齢、平均給料・給与の月額

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	39.3歳	30万138円	35万1,369円

⑩平成29年4月1日現在の給与＝給料＋諸手当

◆平成30年4月1日現在の初任給および経験年数別・学歴別平均給料月額（一般行政職）

学 歴	初任給	経 験 年 数			
		10年	20年	25年	30年
大学卒	18万3,400円	※	※	※	※
高校卒	15万400円	※	26万6,500円	※	37万1,600円

⑩経験年数とは卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合の年数をいいます。（※該当者なし）

◆平成30年4月1日現在の特別職の報酬等

区 分	役 職	月 額	期末手当（平成29年度支給割合）		
			6月期	12月期	計
給 料	町 長	69万4,000円	1.4月分	1.5月分	2.9月分
	副町長	55万9,000円			
	教育長	52万7,000円			
報 酬	議 長	22万5,000円	1.4月分	1.5月分	2.9月分
	副議長	18万4,000円			
	議 員	16万6,000円			

◆職員手当の状況

（平成30年度支給割合）				（平成30年4月1日現在）			
	6月期	12月期	計		勤続年数	自己都合	勸奨・定年
期末手当	1.225月分	1.225月分	2.45月分	退職手当	勤続20年	19.6695月分	24.5868月分
勤勉手当	0.9月分	0.9月分	1.80月分		勤続25年	28.0395月分	33.2707月分
					勤続35年	39.7575月分	47.709月分
					最高限度額	47.709月分	47.709月分

（平成29年度決算）					
その他の手当	扶養手当	住居手当	通勤手当	時間外手当	寒冷地手当
支給総額	572万5千円	316万4千円	224万2千円	841万6千円	257万1千円
1人当たりの平均支給年額	22万211円	19万7,750円	8万78円	21万5,796円	6万2,725円

⑩1人当たりの支給年額は、支給総額をそれぞれの支給要件に該当する職員数で割った額です。

町職員の給与と
定員管理の状況を
お知らせします。

町職員の給与は、民間給与の調査に基づく人事院勧告を基本に、県や他の公共団体との均衡などを考慮し、条例で定められています。平成30年4月1日現在の地方公務員給与実態調査および地方公共団体定員管理調査を基に、町職員の給与と定員管理の状況を公表します。
（團）役場 総務課 ☎（48）5511

街頭犯罪発生件数			
区 分	管 内	三島町	
空 き 巣	1		
忍 込 み	1		
事 務 所 荒 し	3		
自 動 車 盗	1		
自 転 車 盗	4		
自販機ねらい	7		
車 上 ね ら い	9		
部 品 ね ら い	2		
街頭犯罪合計	30	0	
全 刑 法 犯	89	1	

(平成30年10月31日)

○街頭犯罪の特徴
10月に管内の一般住宅敷地内で
車上狙いが発生しています。
・貴重品などを車内に置きっぱなし
にしないようにしましょう！
・短時間駐車でも必ずエンジンキー
を抜きドアロックしましょう！

自動車の登録（移転・変更・まつ消）は お済みですか

- 自動車税は、毎年4月1日現在で運輸支局に登録されている所有者（割賦販売購入の場合は 使用者）に課税されます。
- 例年、「持っていない車の納税通知書がきた」、「納税通知書がこない」等の問合せが数多く寄せられています。
- 納税通知書が間違いなく届くように、次のような場合は3月31日までに運輸局支所で登録手続きを済ませましょう。

- ①住所が変わった ②自動車を人に譲った ③廃車した など



問 福島県会津地方振興局県税部
課税第二課 ☎ 0242 (29) 5261

問 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

- ▼間方いきいきクラブ
12月12日(水) 10時〜 間方集会所
- ▼川井友愛サロン
12月14日(金) 10時〜 川井集会所
- ▼大石田友遊サロン
12月17日(月) 10時〜 大石田生活改善センター
- ▼ひまわりサロン
12月18日(火) 10時〜 町民センター
- ▼大登サロン
12月19日(水) 11時〜 大登生活改善センター
- ▼大石田友遊サロン
1月8日(火) 10時〜 大石田生活改善センター
- ▼浅岐あつたかサロン
1月9日(水) 10時〜 浅岐集会所
- ▼サロンないり
1月11日(金) 10時〜 名入集会所

社会福祉協議会より

サロンのご案内

町の人口と世帯 11月1日現在

人口	1,649	-5	出生	0
男	814	-4	死亡	2
女	835	-1	転入	1
世帯	776	-1	転出	4

③住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

- 問 町民課町民係 ☎ (48) 5555 (第5期)
- ▼後期高齢者保険料(普通徴収)
▼介護保険料(普通徴収)(第5期)
▼国民健康保険料(第5期)
▼固定資産税(第3期)
【納期限 12月25日】

町社会福祉協議会へのご寄附
ご遺志によるもの

二瓶正雄様(大谷)
五十嵐幸己様(大谷)
五十嵐直幸様(早戸)
一般の寄附(足ふきマット)
五十嵐紀美子様(早戸)

ご寄附ありがとうございました



会津坂下警察署からのお知らせ

年末年始の事件事故防止

還付金詐欺防止

公的機関などをかたって、
「税金や医療費の還付金がある」
「今日中に手続きが必要」
などと言って、近くのATMなどに行くよう指示し
いつの間にかに口座に振り込ませるものです

「今日中に手続きが必要」などと慌てさせようとしたら、詐欺でござるよ！



カクニンジャー福くん

架空請求詐欺防止

手口は、公的機関や債権回収業者とよく似た名前をかたって、
「サイト利用料金が未納」
「裁判になる」
などと脅して、現金をだまし取る手口です。
ATMからの振り込みのほか、レターパックや宅急便により現金を送付してしまうのが特徴です。

- ・インターネットギフト券を買わせる
- ・コンビニのレジで番号を言って支払わせるなどの手口にも注意でござる！

インターネット被害防止

「あ・と・が・こ・わ・い」運動実施中

- スマホの約束6か条
- 「あ」 会わないで！（知らない人と）
 - 「と」 撮らないで！（自分の裸を）
 - 「が」 画像を送らないで！
 - 「こ」 個人情報を書き込まないで！
 - 「わ」 悪口を書き込まないで！
 - 「い」 いじめないで！（ネットを使って）



みんなでなくそう、飲酒運転！



飲酒運転は、重大な交通事故を起こす危険な行為です。

- 少量の飲酒でも注意力が低下する
- 二日酔いでの運転も飲酒運転です！
寝たから大丈夫ではありません！
- 車で飲食店に行くときは、お酒を飲まないで運転する人を決めておきましょう。

罰則

- 酒酔い運転 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
- 酒気帯び運転 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
- ※このほかに、免許取り消しや停止などの行政処分を受けます！

「感動」こそがものづくりの原点

雪国、山村に光あれ

名誉町民 宮崎清先生講演会

講演会



名誉町民の宮崎清先生の講演会および意見交換会は11月29日に町民センターで開催されました。町内外から70名以上が参加し、貴重な講演に耳をかたむけました。また、意見交換会では活発な意見が多数交わされ、町民のものづくりに対する熱意がうかがえました。

宮崎先生には、昭和56年に開始した生活工芸運動を中心として三島町のまちづくりに深く関わっていただき、最近では、国立台湾工芸研究発展センターとの友好交流協定締結にもご尽力いただくなど、40年以上にわたって町発展のためのお力添えをいただいています。

講演では、三島町のものづくりの歴史を振り返りながら「生活の中で使うものを作ることが生活工芸だと考えています。人、自然との出会がものづくりを確かなものにします。そういったものづくりは人を呼び、感動を呼びます。感動を提供できる町として、地域づくりを進めていければいいなと思っています」など、ものづくりを活かした地域づくりについての提案もいただきました。

町長日記 70センチの物差し思想が

No. 41

「我々は、いまどんな時代を生きているのであるか」という考えが、脳裏を離れることはありませんでした。特に国・県への陳情や様々な会議での議論、役場職員の皆さんとの会議、地区の皆さんとの座談会や町長室を訪れる方々との話し合いを通して、時代の変化や潮流をつかむことに非常に苦心してきたところでもあります。

ブータン国王が日本を訪問したとき「私の国は世界で一番幸福である」という趣旨のような言葉を発せられたことが印象に残っており、早速「幸福」という言葉をインターネットで調べたところ、毎年国連で「世界の国の幸福度指数」という統計を発表していることがわかり、幸福度を測る基準等の詳細については省きますが、私の国は幸福であるという国は、スカンジナビア半島のフィンランドやノルウェーそしてヨーロッパ諸国が上位で、日本は54位でアメリカは18位、中国が86位で3国の経済大国は上位には入っていませんでした。

政を行う大きな目的は、国民の幸福を追求することにあります。その手段として経済成長を大きくし、その果実を国民に分配することが「幸」を達成するものであると高度経済成長以来信じてきましたが、この手段に大きな疑問を生じてきたのも国連の発表から理解することができました。

今後どのような施策を展開していかねばならないのか考えるとき、私の能力を超えたところに現実があるのは理解してい

ます。若者が「車が必ずしも必需品」でなくなったり、冷蔵庫やテレビ等の電化製品や通信機器も普及し、またITの関係者等々が巨万の富を築き、新聞等で世界では36億人の富と62人の富がイコールの時代に突入した現実を直視するとき、人間の能力ばかりでは考えられないこともありますし、今後世界には様々な歪みが生じてくると思われまふ。

日本全体も、従来の流れのまま施策を展開することは不可能な気がしています。少子化に伴う2025年問題に代表される社会保障システムの医療や福祉の問題や消費税率アップと財政再建等の課題が山積し、日本や世界が大きな転換期にきているような気がしてなりません。

町は時代の潮流の変化を捉えながら、地に足のついた地域資源を活用した、小さな産業を興しながら、地域経済循環型社会の構築を図ってまいります。そのためのキーワードは再生（遊休農地、森林、桐等）環境（自然との共生、循環型農林業）医療・福祉（農業と福祉、健康の重層性を図る）文化（集落の振興、文化の交流）の5つを組み合わせながら多角的に展開していきたく考えています。

今こそ約半世紀にわたる町づくりの歴史を土台として、小さくともキラリと光る、三島独自の「70センチの物差し」を目指して取り組んでいきます。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎0241 (48) 5511

■ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

■印刷 三洋印刷株式会社